

「学びの改革 実施方針」の策定スケジュールの見直しについて

高校教育課

I 地域懇談会等から見えてきた課題

1 「学びの改革 基本構想」の理解をさらに深める必要がある

学びの改革の方向性には理解を示しつつも、再編基準や望ましい学校規模、今後の進め方等について質問も多くあり、「学びの改革 基本構想」の理解をさらに深める必要がある。

＜県民からの意見＞

- ・都市部存立普通校の再編基準及びその根拠についての質問
- ・地域の声を丁寧に聞きながら時間をかけて合意形成を図るべきとの意見
- ・地域や産業界との連携をさらに深め学習を充実してほしいとの意見

2 「探究的な学び」等、今後の高校教育の具体像をより明確に示す必要がある

「探究的な学び」の普及に期待し支持する声がある一方で、学ぶ内容、学び方、普及の方法等への質問、学力伸長との関連に対する質問もあり、今後の高校教育の具体像をより明確に示していく必要がある。

＜県民からの意見＞

- ・「探究的な学び」の具体像が見えないとの指摘
- ・「探究的な学び」推進の前提条件として少人数学級の導入が必要との意見
- ・「探究的な学び」の推進で大学に進学できる学力が養われるか等の不安
- ・「探究的な学びをさらに深める学科」の設置を求める意見

3 地域全体及び県全体の高校の将来像をさらに議論する必要がある

少子化への対応の必要性は理解しつつも、特定の高校の存続問題等、個別の高校を対象とした意見等が多く、地域全体及び県全体の高校の将来像についてさらに議論する必要がある。

＜県民からの意見＞

- ・特定の高校の存続を求める意見
- ・地域の活性化のために地域の高校を残してほしいとの意見
- ・地域全体及び県全体として将来の高校教育を考えていくことが大切との意見
- ・県教委のイニシアティブを求める意見
- ・生徒の学習環境や生活環境の充実を求める意見

